

---

# 想い、想われ

さとの

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

想い、想われ

### 【Nコード】

N5856Q

### 【作者名】

さとの

### 【あらすじ】

とある娼婦と、とある男の会話です。

## (前書き)

＊

- ・オリキャラ視点
- ・オリキャラしか喋ってない
- ・バイマン×ムーザだけど、ムーザ出てこない

以上を踏まえて、どうぞ

まあ、まずはあたしの話を聞いとくれよ。

＊

日が暮れる前だったかなあ。いつものようにシケた客引きに出掛けてたんだよ。客を選ぶ余裕すらない火の車状態だからねえウチの店はさ。

そんな事を思いながら歩いてると、ちょうど外れの所でとぼとぼ歩いてる男がいたんだよ。

あの先には暗い道しかないのに、何しに行くんだと思ってね。ちょっとについて行ったのさ。上手くやれば、店に呼べるかもしれないからね。

ある程度追いついて、そいつの肩叩いたんだ。そしたらさ、物凄く暗い顔しながらそいつ、振り返ったんだよ。当然、驚いたよあたしは。あの顔は一生忘れられないね。

取り敢えず、どうしたんだって話し掛けたんだ。そうしなきゃ何も始まらないからねえ。で、反応を見たんだけど…沈んだまま。こっちまで暗くなっちまうみたいだったよ。

んで、そいつは何事も無かったようにまた先に進もうとしたから、慌てて止めたんだ。取り敢えず、話聞いてあげようかって言ってね。あんなところで立ち話も何だし、そいつの手引いて店からそんなに離れてない所まで行ってそこら辺に座ったんだよ。でも、何の変化もなし。うなだれてるばかり。

このままってのも何だし、そいつの顔をちよいと上げさせたんだ。あ、別に無理矢理じゃあないよ。何だいその目は。

で、よく見たらさ、まあ可愛い顔なんだよねえ。あんな顔してなけりやもつと映えるだろうに。思わず頬擦りしたくなつたくらいだよ。……本当にやった訳じゃあないよ。疑り深いね。

そんでさ、あたしは言つたんだ。溜め込むぐらいなら、吐き出した方がいいってね。ありや、今にも死にそうって雰囲気醸し出してたからさ。流石に可哀想に思つちまつたよ。

それで、どんくらい経つたかなあ。……そんなにかかつてなかったかな。そいつがやつと口開いたんだ。

ゆつくりとだけどさ、話したよ。……過去のこと。家族のこと。

あんな凶悪な軍隊にいたのに、人だっていっぱい殺してきたろうにさ……家族のことは常に思つてたなんてね。本当に、好きだったんだねえ……。話す度に泣きそうな声出してるんだから。いっぱい、我慢してたんだろうね……。そんな風に言われたらさ、店に連れてくことなんて出来るわけじゃないか。頭は撫でたけどね。不謹慎だけど、されるがままのあの姿はまあ可愛いかったね本当に。小動物みたいだったよ。

……と、いうわけだ。あたしはあの子には手、出してないからね。話聞いてあげただけなんだよ。

つかさ……あんた、自分じゃあ気付いてないかもしれないけど……目が笑ってないんだよ。いくら表情作ろうとしても、まる分かりなんだからね。あたしがどんな気持ちで全部話したか……怖いっただけじゃない。

あれだよ。あたしの香水が付いちゃったんだろうね。かなり多めに付けてるから。商売柄、仕方ないさ。

ああ……だからか。あんたが最近いやに乱暴にあたしを抱くのは。成

る程ね…あたしはあの子の代わりだったってことだ。

いや、ちよつと違うかねえ。あの子を…失くしたくないんだろ。離したく、ないんだろ？

なら…ちゃんと傍にいてやりな。こんなところで女遊びやってる暇があるんならね。本当に離さないってのは、そういうことだよ。

さって…ほらとつと出ていきな。いつまでもここにいられちゃ迷惑なんだよ。これから他の客の相手しなきゃならないんだから。

もう、ここに来る用はないだろ？ほら行った行っったつ。

じゃ、あの子によろしく言つといとくれよー。

…まったく、世話が焼けるったらないねえ。

あの子も大変だねえ。あんなのに気に入られちゃまってさ。

でも…あんな風に想われるのって、ちよつと羨ましいかもね。

おっと。次の客が来たみたいだね。さ、仕事仕事っ。

あたしも、大事な人見つけたいな…なんてね。

**(後書き)**

最初から最後まで会話です； いつの間にかオリキャラ姐さんに愛着が湧いてしまいました。格好いい女性好きです。  
ここまで読んで頂きありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5856q/>

---

想い、想われ

2011年10月8日16時52分発行